

## 研修プログラム共通評価項目

(医療人として必要な基本姿勢・態度)





研修生氏名 \_\_\_\_\_ 指導責任者氏名 \_\_\_\_\_ 提出日 \_\_\_\_\_

## 研修プログラム共通評価項目（医療人として必要な基本姿勢・態度）

A：特に優れている B：十分 C：要努力

### 1 患者－理学療法士・作業療法士関係

患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立するために、

	指導者評価		
	A	B	C
1) 患者、家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握できる。			
2) 守秘義務を果たし、プライバシーへの配慮ができる。			

### 2 チーム医療

医療チームの構成員としての役割を理解し、保健・医療・福祉の幅広い職種からなる他のメンバーと協調するために、

	指導者評価		
	A	B	C
1) 指導理学療法士・作業療法士に適切なタイミングでコンサルテーションができる。			
2) 上級及び同僚理学療法士・作業療法士や他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれる。			
3) 患者の転入・転出にあたり情報を交換できる。			

### 3 問題対応能力

患者の問題を把握し、問題対応型の思考を行い、生涯にわたる自己学習の習慣を身に付けるために、

	指導者評価		
	A	B	C
1) 臨床上の疑問点を解決するための情報を収集して評価し、当該患者への適応を判断できる。 (EBM=Evidence Based Medicine の実践ができる。)			
2) 自己評価及び第三者による評価を踏まえた問題対応能力の改善ができる。			
3) 臨床研究の意義を理解し、研究や学会活動に関心を持つ。			
4) 自己管理能力を身に付け、生涯にわたり基本的診療能力の向上に努める。			

### 4 安全管理

患者及び医療従事者にとって安全な医療を遂行し、安全管理の方策を身に付け、危機管理に参画するために、

	指導者評価		
	A	B	C
1) 医療を行う際の安全確認の考え方を理解し、実施できる。			
2) 医療事故防止及び事故後の対処について、マニュアルなどに沿って行動できる。			
3) 院内感染対策（Standard Precautions を含む。）を理解し、実施できる。			

## 5 医療記録および症例呈示

医療記録を適切に作成し管理するとともに、チーム医療の実践と自己の臨床能力向上に不可欠な、症例呈示と意見交換を行うために、

	指導者評価		
	A	B	C
1) 診療録をPOS (Problem Oriented System) に従って記載し管理できる。			
2) 評価に基づいた症例呈示と討論、および症例検討レポートの作成ができる。			
3) 臨床症例に関するカンファレンスに参加する。			

## 6 医療の社会性

医療の持つ社会的側面の重要性を理解し、社会に貢献するために、

	指導者評価		
	A	B	C
1) 保健医療法規・制度を理解し、適切に行動できる。			
2) 医療保険、公費負担医療を理解し、適切に診療できる。			
3) 医の倫理、生命倫理について理解し、適切に行動できる。			
4) 医療用具による健康被害の発生防止について理解し、適切に行動できる。			